



今日から楽しい保育所（こぼたけ保育所・入所式）

みんなの 町議会

第6号
2006年4月

 神石高原町

主な
内容

平成18年度当初予算	2
どう活かす102億9,600万円 予算に対する質疑	5
こんなことが決まりました	14
一般質問	16
元気なグループ紹介	22

平成18年度当初予算（一般会計）

9,600万円の（前年対比3.8%減）

十分に苦勞した予算

三月定例会

三月定例会は、三月六日に招集され、二十二日までの十七日間の会期で開かれました。今回の定例会（第一回）では、平成十八年度当初予算、平成十七年度各会計補正予算（三
月補正）、神石高原町に収入役を置かない条例の制定など五十一議案が提出され、すべて原
案とおり可決されました。

選択と集中に議論白熱

合併以来二度目の通年
予算となりました。

一般会計の予算総額は
平成十七年度より四億四
百万円、三・八%減の一
〇二億九千六百万円とな
り厳しい予算編成となっ
ています。歳入面では、
依存財源である国・県
の補助金、地方交付税の
減による財源不足を税制
改正や負担金などの自主
財源の微増と財政調整基
金・減債基金の取崩しな
どで確保しており、歳出
面では、縮減・見送りし
た事業を含め投資的経費
（十二%減）、その他物件
費（十二・三%減）など
圧縮した「十分に苦勞し
た」予算となっています。

行財政改革、総合開発
事業、農林業ビジョン、
ふれあい事業、新たな介
護保険事業、県立病院な
ど本町の当面の課題や将
来展望に関する予算に論
議が集中しました。

厳しい財政状態は当分
続きそうですが、議会は
住民の皆様とともに知恵
を出し合って研鑽し、輝
く神石高原町を目指し
て、議会としての機能を
果たしていきたいと思っ
ています。

一般質問では九名の議
員、総括質問では十三名
の議員、事項別質問では
十二名の議員が行政の課
題を質しました。



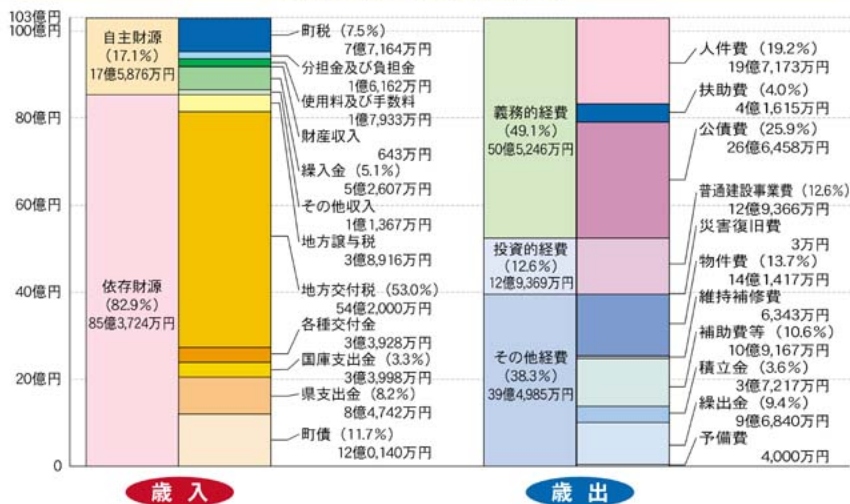
豊松・トマト選果場



議場・理事者席

102億

平成18年度一般会計当初予算



特別会計当初予算

… 総額 61 億 5,200 万円

平成 18 年度国民健康保健特別会計予算	12 億 1,100 万円
平成 18 年度老人保健特別会計予算	24 億 4,400 万円
平成 18 年度介護保険特別会計予算	16 億 9,200 万円
平成 18 年度簡易水道事業特別会計予算	5 億円
平成 18 年度飲料水供給施設事業特別会計予算	3,500 万円
平成 18 年度農業集落排水事業特別会計予算	2 億 4,900 万円
平成 18 年度観光施設事業特別会計予算	2,090 万円
平成 18 年度分収育林事業特別会計予算	10 万円

平成18年度予算編成方針



牧野町長

要旨

本町の平成十八年度当初予算は、実質二回目の通年予算であり、予算規模は一般会計において標準財政規模を目標に検討しましたが、昨年と同様一〇〇億円を超える予算となりました。県と同様、十分に財源移譲が行われないうちでの三位一体改革等により、国県補助負担金の廃止・縮減など財源不足が深刻な状況にあります。この歳入不足に対しましては、歳出におきまして、全課一丸となつて歳出を抑え「住民サービスの低下を最小限に留める」ことを前提に努力した予算といたしました。

予算編成の基本的な考え方は、新町の将来像である「人と自然が輝く高原のまち」を基本理念に、新町建設の目標であります五項目の目標達成に向けたものと位置づけしております。

① **快適で魅力に満ちたまちづくり**には、総合開発計画の策定、自治振興会の充実、ふるさとふれあい事業を通して魅力ある生活拠点づくりに努めます。

なお、地域審議会につきましては、主要な任務である新町建設計画の答申という任務がなくなりましたので、平成十七年度をもって廃止することとします。

良好な生活環境の形成に向けては、給水施設・下水道施設・衛生施設の適切な運営を行うとともに、し尿処理施設につきましては、老朽化による汚泥乾燥機の撤去・据付工事を行うこととしております。また、町営住宅につきましては、消防法の改正により自動煙感感知器の設置を順次行いながら、住環境整備の充実を図ってまいります。防災面におきましては、非常備消防における消防団活動の充実を図るため、神石方面隊にC・D型型の消防自動車を配備することといたしております。また、火災時における水利確保のため中山間地域総合整備事業により防火水槽6基の設置を計画しております。

② **保健・医療・福祉の充実したまちづくり**は、地域保健・医療体制の確立など保健福祉センターを中心とした健康づくりの推進を行います。新規事業として福祉事務所の設置による生活福祉の向上、地域包括支援センターによる介護予防事業の充実、障害者自立支援法による障害者の自立できる環境づくり、総合開発整備事業として井間地区の住宅団地整備などを行います。

③ **教育・文化のまちづくり**は、児童生徒の安全な輸送体制の確立、小・中・高校教育支援事業など学力・学校教育の充実、地域の社会教育施設の有効利用ができる環境づくりに努めます。

④ **活力ある産業と交流のまちづくり**では、営農体制の充実と農産物加工・流通体制の強化を図り、中山間地域等直接支払事業、基盤整備促進事業などソフト・ハード両面にわたって各種事業に取り組みます。地域産

業の活性化に向け商工会各種活動の支援を行います。

また農業公社の統合、土地改良区の本化、第三セクターの独立採算にむけ準備検討いたします。

⑤ **交通・情報通信基盤の整備**については、周回道路としての国道・県道改良負担金の計上、町道十七路線の整備など行い、生活交通確保事業として予約乗合タクシーをスタートします。

財源不足は深刻な課題であり、行財政改革に積極的に取り組み、機構改革をも含めた事務事業の見直しを行います。

引き続き「迅速・確実・誠実」のJ・K・Sを合い言葉に本町の存続をかけた取り組みを、住民・職員が先頭に立ち、臨む所存です。



保健課が入る保健福祉センター

どう活かす

一〇二億九千六百万円

予算に対する 質疑

問 持続可能な

行財政運営とは

Q 十八年度は十分に苦労した予算として、一〇二億九千六百万円を提案されている。

町長は十二月議会で「標準財政規模に近い七十五億円の予算で」「持続可能な行財政運営を」との構想を述べている。

その整合性と持続可能な行財政運営と、具体策は、

A 町長

以前は国県町村の破綻(立ち行かなくなる)というのは想定外の事であった。最近では債務(借金)が多い事から行財政難に苦しむ自治体が激増



小林 貢議員

している。

国で自治体破綻法の制定の動きもある。

そうならないようにしていきたい。

平成二十年まではある程度の黒字でいけるが、以後は極めて不透

明である。

今から計画的に財政運営をしていきたい。

理想は七十五億円だになり、更に住民サービスを落とさざるを得ない。

皆さんの期待も大きいことから、一〇三億円弱の予算とした。

Q 持続可能にするには改革が伴う。「改革」住民サービス低減では住民はたまったものでは無い。総合的な改革を進めれば。

A 町長

三月末には財政にまつわる集中改革計画となる。「行政改革プラン」を提出する。

県でやつてもらいたい」と強く求めている。目下交渉中であるが、何れにしても早期結論が必要と考えている。

Q 農業関係補助金交付要綱案は、対象が組織で十ha以上、個人で四ha以上となっている。町の手だては国・県

の補完対策であり、これではハードルが高すぎて「集落営農」「法人化」の呼び水に成り得ない。少なくとも十haを五ha、四haを二haに改めるよう強く求める。

A 町長

内部調整を行い、意向に沿うようにしたい。



県立神石三和病院

問 県立神石三和病院の 着地点・時期は

Q 県立神石三和病院については、直接的な予算計上はないが、本町にとっては施政方針から外してはならない重要な課題に位置付けられる問題だ。

県は一般会計から五億四千万円繰り入れてい

る問題だ。

本町の財政状況では不可能であり、指定管理者制度を使えば県で「公設民営化」ができるのではないか。

県の移管計画からすると九月末ごろまでに着地点を見いださないと対応できないのではないかと「着地点」「時期」を明らか

にするべきだ。

県は施設整備をしようとしている。財政支援は考えていないと言っている。

対県交渉でも県の考えが理解できないところがあり、「公設民営化



瀬尾征爾議員



住民課

本庁窓口

問 財源確保の対策は

Q 厳しい財政の中で、歳入をどう増やすのか。

A 町長 投資的経費の増加に向けて新たな事業の展開は、

「カイハラ」や手入発電所の固定資産税の増収が見込まれる。また、農林道の敷地料を徴収するなど鋭意努力している。

新たなハード事業の展開は充分な検討が必要。

Q 町内の大きな職場である官公庁や農協などが、合理化により、縮減されている。定住対策の大きな条件である雇用の確保にどう取り組むか。

A 町長 確かに、リストラ



広島牛改良センター

Q 予算編成大綱の中で、経営規模の拡大や高度化により、効率的かつ安定的な農業経営を充実し、農産物のブランド化や加工・流通体制の強化を図るとある。広島牛改良センターの移転について、町の方針を伺う。

A 町長 本年度は畜産技術



松本彰夫議員

が進み本町の雇用の場は縮小されつつある。「カイハラ」の創業により新たな雇用も期待できる。更に福山市への通勤可能な地の利を活かした、井関地区の住宅団地整備も定住対策である。

問 広島牛改良センターの活用は

Q センター（庄原市）に三億七千万円かけて、搾乳・受胎牛舎などを建設し、随時移転統合される。移転後の施設は、無償で本町に移管するよう要請している。

県は三次地域で三千頭の生産目標をたて、乳牛に受精卵移植で、広島牛の繁殖を行う。本町でも神石牛地域再

Q 子育てするのなら神石高原町でと云えるような施策を取り組むべきでは。目先のことをスポーツでやるのではなく、トータルサポート・トータルケアの視点で、児童福祉、教育、更には雇用の確保を含めた環境整備を。

A 町長 子育て・定住対策は、過疎に悩む自治体の共通の課題である。本町でも子育て定住

対策を取り組んでいるが、対象者が満足しているとは言えない。本町の魅力を活かした環境を作り、住環境の良さをアピールする事も必要と考える。



村上克朗議員

構築のプロジェクトを立ち上げ、繁殖を進め子牛の飼育拡大に努める。神石高原町和牛改良組合と協議している。

Q 民間の資金運用で和牛生産者による大規模な法人組合を立ち上げて、農業観光・牛

肉の加工所・高級レストラン等の事業を取り組んで、雇用と観光に役立ち、和牛生産者の活路になるのでは。

A 町長 民間資本の対応を考へて行きたいが、和牛改良組合に法人化への意欲があるかどうかである。

「神石高原町和牛の里づくり」プロジェクトの立ち上げをしたい。



いずみ保育所退所式

問 県立神石三和病院の 行方は

Q 三月県議会で、地元元移管の方針は変わら
ないと答弁している。病
院問題がどうなるのか、
町民は大変心配してい
る。着地点はどこなのか。

Q 元選出の藤井県議
が、神石三和病院の地
元移管について質問され
た。

A 町長
地元移管にあたり、
県の財政支援は全くない
と聞いた。これでは町と
して引き受けられない。
どうしても地元移管が
なれば、県が公設民営化
してほしい。地元移管の
シミュレーションを県が
二月末に示す予定だった
が、未だに出てこない。



1.5歳児検診



片山元八郎議員

しかし、助役を窓口とする
事務レベル協議が四
回行われ、協議はほぼ終
了したの思いもある。
最終決断の時期に來
たと考える。

Q ふるさとふれあい
事業の身中に問題

はないか。神石地区の保
育料激変緩和事業、豊松
地区のオーストラリア
語学研修助成。町民は等
しく、公教育は平等であ
るべきではないか。

A 町長
正論だが、二つの
事業は合併時の約束。
既得権なので平準化に
は該当しない。保育料
は、十八・十九年度の二
力年、語学研修助成は今
年度限りで終了する。

問 安全・安心の まちづくりは

Q 町公施設等の耐震
診断調査並びにその
状況と対応策は、

A 町長
近年建築した建物
は建築確認申請時に確認
がとれており安全である
が、老朽化した学校等は
診断が必要。優先順位を
つけて順次調査する。

Q 町の一体感と平準
化を進める中で、

まちづくりは

町民が受けるサービスが
現在より「良くなる」「変
わらない」「悪くなる」
部分の把握と、町民感情
をどうみるか。良い部分
は残し、町全体として現
在より向上することが望
まれる。

町長は十八年度予算
で、全体として向上する
と思うか。

A 町長
合併推進時、高福



小川清治議員

祉低負担に調整された
が、現在では、本町の継
続維持のため、負担に見
合うサービスにならざ
るを得ない。

Q 十八年度の「ふるさ
とふれあい事業」予
算は各地区均等千二百万
円となっているが、その
積算根拠は何か。町民一



豊松中学校・オーストラリアでの語学研修

人あたり額七千七十五円
の地区と二千七百七十二
円の地区がある。格差は二・六倍と大き
く、町の一体感に逆行す
るのではないか。

A 町長
合併時の決定事項
であり、理解してほし
い。

Q ふれあい予算の未
執行額は、
A 町長
残額は、翌年度に
執行することを見直す。

問 集中と選択は

Q 平成十八年度の予算編成において、重点的政策として何を選択し、何処に集中されたのか。

A 町長 集中という事は、何をやりたいのかということに繋がる。

具体的には、若者定住に期待する井関地区の総合開発事業、高齢化対策

としての予約乗り合いタクシー事業。農業関係では野菜選果場整備、ライセンサー整備、特定中山間保全事業等である。

Q 情報システム整備については、デジタル式防災無線システムの調査設計業務委託料千八百万円の計上となっている。財政が厳しい時

に向けて取り組む。有害鳥獣対策は、これといった決手が無いが、有害鳥獣対策委員会が検討し、猟友会の理解と協力を得ながら、猪や猿の捕獲・駆除へ鋭意取り組む。



木野山孝志議員

になぜ急ぐのか。

A 町長 今年度、防災行政無線整備を行う。過疎地域自立促進計画にも示している。

企画課長 検討委員会の答申は、デジタル防災行政無線となつていく。

整備事業は、財源の負担が少ないよう分割し、合併特例債で事業展開したい。

Q 新たな介護保険制度の移行は各市町村の自由裁量となつている。サービスが出来るだけ低下しないように、新制度への移行は慎重、確実に実施すべきだ。

A 町長 介護保険制度の改正にともなう事業などの時を失することなく

財源不足を補うために、広報誌やホームページなどに企業の広告を掲載するなど、自ら稼ぐ努力をしてはどうか。



寄定秀幸議員

Q 財源不足を補うために、広報誌やホームページなどに企業の広告を掲載するなど、自ら稼ぐ努力をしてはどうか。

A 町長 広告については検討中である。財源確保と収入増に努力する。

スタートするよう準備をすすめている。法改正に基づくもので、指導もあり予定通り行う。



デイサービス（メルシー三和）

Q 子どもの安全対策は、

A 教育長 P T A が中心となつて各小学校で地域安全マップ作りを行い、通学路の安全点検を行っている。

防犯活動が活発化している。子どもの危険回避能力を高める防犯教室の開催、スクールガード（学校安全ボランティア）の受講などの取り組みを行っている。



大瀬地区災害

問 大瀬地区の災害復旧は

Q 大瀬地区の小規模崩壊地復旧工事の予定地が崩落した。一日も早い復旧を願っているが、今後の取り組みは、

A 町長 十八年度の小規模崩壊地復旧事業として予定していたが、このような事態となつた。崩土の除去などの問題もあり、検討中であるが、復旧へ

に向けて取り組む。有害鳥獣対策は、これといった決手が無いが、有害鳥獣対策委員会が検討し、猟友会の理解と協力を得ながら、猪や猿の捕獲・駆除へ鋭意取り組む。

A 町長 広報については検討中である。財源確保と収入増に努力する。

A 町長 広報については検討中である。財源確保と収入増に努力する。

A 町長 広報については検討中である。財源確保と収入増に努力する。

防犯活動が活発化している。子どもの危険回避能力を高める防犯教室の開催、スクールガード（学校安全ボランティア）の受講などの取り組みを行っている。

問 活力ある農業の方向について

Q 本町の基幹産業は

農業であり、過疎化高齢化が進み、農業に携わる人々には特に高齢者が多く、二、最近、農地の荒廃が増加傾向にある。また、農産物の価格の低迷で収益もあがらないのも一つの要因と思われる。一後継者不足、二、農地の荒廃、三、農地の集積、これらの問題

をどう解決するのか。

A 町長

本町は、棚田が多く、平地が少ないため農業基盤が非常に悪い地形である。昔から特産であったものを掘り起こしたい。荒廃地に和牛を放牧する等、畜産とこれらとを連動した取り組みと和牛改良組合で研究し、積極的



豊田耕三議員

に取り入れる考えがあれば予算計上し、支援もしたい。

広島牛改良センター跡地利用も有効に活用すれば農業振興にも効果的と考えられる。法人・認定農業者を育成強化し、生産性を高める。攻めの農業は、コス

ト削減が必要だが、できるだけ支援を考えている。

農業者も主体性をもって自立していただきたい。

問 今後の改革と

財政運営は

Q 本町の財政に大きな負担となっている三つの過剰である人

員・施設・債務の解消と今後の改革、財政運営をどう考え、取り組むのか。

A 町長

人員は五年間で三十九人一七％減、不要な施設は地域に管理委託や処分を積極的に行う。また、各旧庁舎は地域

での総合的な活用を考慮の基礎固めとしたい。今後の予算で新町発展の課題とし、新たな施策で新町の発展に取り組むたい。

Q 新規事業である、井間住宅団地の概要は、定住対策は重要な施策だが、住宅団地は他



佐伯卓師議員

の自治体でも失敗例が多い。充分な調査と計画で取り組まれたい。

A 企画課長

本年は調査で、面積は七ha、一区画平均二百坪で六十五、七十五区画を計画している。

Q 三和農業公社と豊松陽光の里公社の

町への定住促進を民間活力を利用して進めたい。

Q 特定中山間整備事業への採択と取り組みは。

A 町長

森林と農用地保全を目的とした事業である。事業費は、一〇億円程度で採択に向け努力する。

統合後の方向性は、**A** 町長

農業の受託だけでなく、生産から販売まで目指し、全町に広げたい。



采見堆肥センター現地調査



問

新町建設計画の 事業費の変更は

Q 一七〇億円の前町村の配分額は旧持すべきだが、これが変更された。井関住宅団地造成に配分額から五億六千万円全部充てるのか。

A 町長
新町の振興対策と位置付け、枠にはこだわらず一七〇億円の地域分は按分する。

必要な事業であり、予算をオーバーすることは無い。

Q 呉ヶ峠く土生線が廃止検討路線とあるが、通学・通院に利用されている。バス路線の継続を望む。

A 町長
路線バスが仮に廃止になれば、通学は



池木小学校給食



久保田龍泉議員

スクールバスを検討する。六月一日から乗合タクシーが稼働するので、六十五歳以上の人はそれで対応できるが、六十五歳以下の人は利用者の意見を聞き、検討する。

Q 学校給食での食材の地産地消の取り組みは、

A 町長
一月より三和調理

場で町内産米を使用している。その他の調理場では、四月から、地元産米の使用を実施する。特産品については、各調理場で調達しており、野菜は冬場に少ないので、期間を限定して使用できないか検討したい。

Q 団塊世代の定住を検討すべきと考えないか、調査すべきでは。

A 町長
空き家の調査に基づいて、持主にお願いすることも考えられるし、職員をその対策に充てることを検討したい。



高基研修センター

問

食育と山村留学の 取り組みを

Q 食の乱れにより、脳の障害・未成熟が発生するとも言われている。身土不・医食同源・気候風土などを無視した食生活を見直すとき

がきた。未来を託す子供たちに、食の重要性を「農」とのかわかりを通して教えることは大人たちの責任だと思わうが、その対策

は。

Q 山村留学事業で、中山間地の持つ意義を発信し、将来一大教育の町を目指すには、

A 町長
山村留学はぜひ取り組みたいと思っており、空いた学校も多くあるし、旧高蓋中学校のように宿泊施設が整ったところもあるので、山村留



赤木健二議員

学から都市との交流を通して定住につながることも考えて、実行段階に早く移したい。

助役
食育関係の県の事業もいくつかあると聞いているので、可能なものは取り組む姿勢で検討したい。

教育長
地元の方や油木高校の協力を得て、学校菜園を利用しての農業体験や販売施設等を訪問して生産から流通までの学習を各校それぞれ行っている。栄養教諭の育成を予定するなどして、学校・家庭・地域の農業者の指導連携により、食育の推進を進める。山村留学は行政と教育の連携により契めることが重要。

問 企業の農業進出と 農林業への支援は

農林業への支援は

Q 公共事業は、一産業として、雇用確保も担っていたが、投資的予算の減少で過疎高齢化に拍車がかかることが心配される。「本町の主要産業は、農林業で、経営規模の拡大、営農体制の充実等で、活力ある収益の向上する農林業を目指す」とあるが、企業の農業進出推進と今後の農林業に、具体的な支援指導対策は。

A 町長 企業の農業進出は、県で「新分野進出チャレンジ企業支援事業」として、神石郡、山県郡を指導している。農業をはじめ新分野に参入進出している企業も数社ある。

行政も指導体制を整え、法人化と生産性を高め、収益の出る農業を指していきたい。

Q 企業の農業進出の推進と、法人組織の設



丸山達夫議員

A 町長 立に町独自の支援策は、

企業の農業分野への進出に対しての、財政的支援は考えていない。自己資本で、自立の精神を基本とする。

農業振興は、充分でないが、呼び水的な支援とし、単町独自の補助金制度で対応している。

神龍湖崩落事故の災害復旧始まる

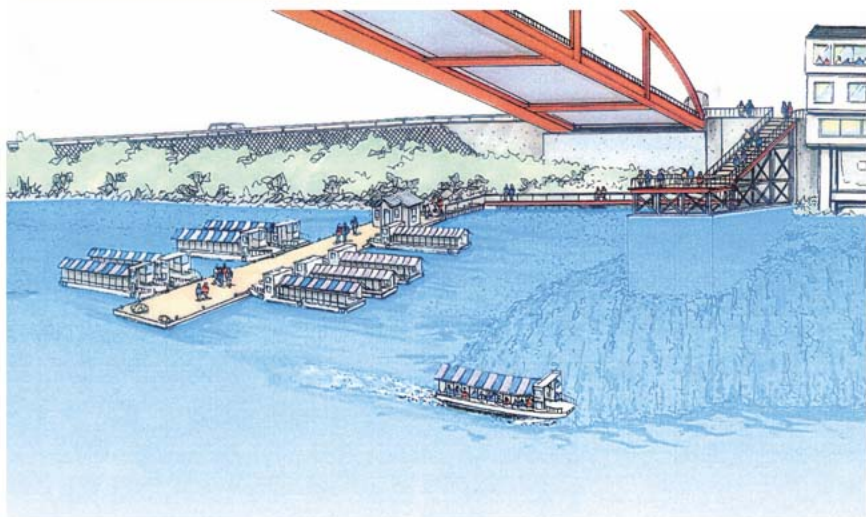
昨年十月に岩盤が崩落した神龍湖の災害復旧が取り組まれています。この工事は、中国電力の補償工事として「嵯峨峡遊覧船」が発注して行われます。

復旧計画の条件として、国定公園内の名勝地「帝釈峡」の自然景観に配慮した計画となっています。また、現在の乗船場は、危険なため、

復旧工事を併せて、乗船場所が下流に変更されます。

工期は、六月末までとなっています。このため、毎年四月二十九日に行われている湖水開きは、神事のみ行われる予定です。

工事は、夏休み前の完成を目指しており、完成後大々的なイベントが行われる予定です。



予算の具体案は



問 新平谷団地の今後の計画は

矢田貝克治議員

Q 新平谷団地高齢者住宅の建設計画と入居希望の状況は、

A 建設課長

現在支所を通じ三件余りの問い合わせがある。今年度の入居状況を判断して、十九年度以降の計画を進めたい。

急を要するものから優先順位をつけ診断する。豊松小学校は十八年度の対象としている。

Q 公民館長の報酬にハランキがある。館長報酬を統一すべきでは、

A 生涯学習課長

各公民館とも、館長の勤務日数は一体化していない。週五日勤務で、館長報酬も二十万円位に統一したい。

Q 豊松小学校の耐震調査は、

A 総務課長

本町においては、緊



新平谷団地・高齢者住宅（豊松）

問 コミュニティー施設の改修は

渡辺俊徳議員

Q コミュニティー施設の改修補助金は、百万円予算計上されている。十七年度も予算オーバーし改修できていない。十八年度もすでに数件の申請があり、予算内に収まりそうにない。どう対応するのか。

A 企画課長

定率の助成で対応できない場合は按分も考えた。改修申請については、雨漏りなど緊急性の高いものを優先する。

問 団体補助金は六月までに交付を

瀬尾征爾議員

Q 各種団体に対する補助金が年度末に支払われている。活動が抑制され予算も有効に活用されないことにもなる。活動を促進するためにも、遅くとも一〜四半期（四月〜六月）には概算払いをすべきではないか。

A 総務課長

概算払いについては財務規則に定められているが、できるだけ趣旨にそって見直しをしたい。

A 産業課長

十七年度は初年度であらゆる作業が遅れたが、二年目の今年からは請求があれば対応したい。

例えば工事請負では着工届で四〇％以内支払い、完了届で全額支払う。特に中山間直接支払い交付金は多額であり、年内には活動も終る。



コミュニティの草刈り



産業建設常任委員会現地調査

問 長期総合計画の策定は

小林 貢議員

問 水道工事は地元業者で

松本彰夫議員

Q 長期総合計画は新町建設計画の修正という大作業であり、検討を任される審議会の役目は多大である。委員構成と住民意思の反映をどのように考えているか。

A 名を審議会委員としてお願いする。住民の想いは各地区の自治振興会から出て頂く二名の意見を聞きながら検証していく。

A 企画課長
地域審議会が廃止されたことで、各地区自治振興会から二名で八名、全町から有識者として五

Q 生活交通機関確保対策事業が六月試行となっている。関係業者及び行政が相互理解と協力で、継続

可能で住民の満足度の高い安定した事業実施を望む。
A 企画課長
計画の段階で各方面から色々の問題点も何つている。真摯に受け止め、誠実さをもつて確実なものにしていきたい。

Q 時安地区の水道工事が発注される。公共工事が減少する中、町内業者に発注すべきでは。
A 町長
補助事業で、制約もあるが、町内業者に発注するよう努力する。

Q 井関地区の開発は、民有地も取り込む計画だが町が買収するのか。
A 企画課長
町は買収せず、民間業者が買収し、区画整理で造成し、工事費は現物でかえす。

*町道改良の採択申請は、十八年以降で行う。民間業者については、できる限り町内の企業で取り組んで頂きたい。
Q やすらぎ苑の改造計画が予算化されている。町単独の事業は早く発注すべきだ。
A 総務課長
単独事業は、早期に発注するよう努める。

問 農業公社の統合は

木野山孝志議員

Q 農業公社統合について現時点での準備の事務処理と将来展望は、

A 町長
新会社は有 limit 会社に立ち上げる。現在行っている三和、豊松地区での農作業の受委託を郡内に広げる予定だが、将来は、生産法人として農地の取得や農産物の生産、加工、販売などを行い企業体質を兼ね備えた公社として運営したい。

Q かがやき予算は新町一体化の予算であるが、今後、予算を増額する予定があるか、ふれあい祭り・旧町振興事業との関連性、整合性は、

Q おでかけタクシーについて、生活交通方式の変更で財政はどうなるか。
A 企画課長
スクールバスはそのまま実施するが、僻地患者輸送バスの廃止、利用運用の少ないバス路線の廃止や運行変更、福祉タクシーの廃止による三千四百万円余りが、おでかけタクシーの予算二千三百万円の財源で



中山間地直接支払事業

Q 本年度は規模を少し大きくし、油木地区で行う。新規に四地区を統合したイベントが望ましい。ふれあい事業が少しずつかがやき事業にシフトしていけば一体化した事業が拡大化すると思つ。

A 企画課長
本年度は規模を少し大きくし、油木地区で行う。新規に四地区を統合したイベントが望ましい。ふれあい事業が少しずつかがやき事業にシフトしていけば一体化した事業が拡大化すると思つ。

A 企画課長
スクールバスはそのまま実施するが、僻地患者輸送バスの廃止、利用運用の少ないバス路線の廃止や運行変更、福祉タクシーの廃止による三千四百万円余りが、おでかけタクシーの予算二千三百万円の財源で



神石ブロック芸能発表会

いしんなことが 決まりました

条例制定、一部改正について

● 神石高原町に収入役を置かない条例を全会一致で可決

行政運営の効率化をはかり組織機構の見直しを求められており、本町の財政規模・人口規模等から熟慮した結果、収入役を置かないこととし、助役が収入役事務を兼掌します。

● 神石高原町地域審議会条例を廃止。採決の結果、反対三、賛成十四で可決

合併と同時に設置し、ふるさとふれあい基金の活用や地域の意見集約の業務にあたったが、新町建設計画にかわる、長期総合計画は、地域審議会のメンバーを集約した形で新しく立ち上げ、自治振興組織の活動で補足するものであり、地域審議会を解消します。

● 神石高原町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を全会一致で可決

行財政改革の一環として、経常経費の削減を図るため、選挙関係を除き、日額費用弁償七千円を六千三百円にするものです。

● 神石高原町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を全会一致で可決

国では人事院が人事評価制度を導入し、平均四・八%減額した給料表を勧告しており、本町もこれに準じ四月一日より給料表の改訂を行うものです。

● 神石高原町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例を全会一致で可決

旅費の日当を半減するものであり、「二千五百円」を「一千三百円」に、「五千円」を「二千五百円」とするものです。

● 神石高原町介護保険条例の一部を改正する条例を全会一致で可決

介護保険料を改定するもので、平成十八年〆平成二十年までの保険料月額二千八十円〆六千二百四十円となります。(第一号被保険者)

● 神石高原町国民保護協議会条例の制定について採決の結果、反対二、賛成十五で可決

武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づき、神石高原町国民保護協議会の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものです。

神石高原町公の施設における指定管理者の指定

施設名	指定管理者	委託料
陽光の里文化ホール	神石高原商工会	606万円
神石山村開発センター	神石高原商工会	206万円
三和共同福祉施設	神石高原商工会	406万円
来見堆肥センター	来見堆肥センター管理組合	-
桑木堆肥センター	桑木堆肥センター管理組合	-
切田堆肥センター	切田堆肥センター管理組合	-
油屋集会所	有木自治振興会 油屋上班・下班	-

2 月 補 正

単位：千円

会 計 名 称	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
一 般 会 計	11,444,973	△ 42,792	11,402,181
特 別 会 計 合 計	6,159,133	△ 1,575	6,157,558
合 計	17,604,106	△ 44,367	17,559,739

3 月 補 正

単位：千円

会 計 名 称	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
一 般 会 計	11,402,181	△ 42,977	11,359,204
特 別 会 計 合 計	6,157,558	△ 103,597	6,053,961
国民健康保健特別会計	1,228,167	8,473	1,236,640
国民診療施設勘定	6,000	△ 200	5,800
老人保健特別会計	2,447,153	20,000	2,467,153
介護保険特別会計	1,763,832	△ 121,850	1,641,982
簡易水道事業特別会計	195,631	△ 5,541	190,090
飲料水供給施設事業特別会計	224,012	703	224,715
農業集落排水事業特別会計	250,743	0	250,743
観光施設事業特別会計	41,920	△ 5,182	36,738
分収育林事業特別会計	100	0	100
合 計	17,559,739	△ 146,574	17,413,165

あなたの声を町政に

九人が一般質問（通告順）

本定例会での一般質問は、九人の議員が通告順に行いました。質問の持ち時間は、一人二十分以内で、十六日に行われました。

問 災害対策に万全を期せ

答 地域防災計画にそって対処



片山元八郎議員

るが、一部地権者の最終理解に至っていない。合意に向け努力する。

Q 昨年十二月の異常寒波による雪害対策特に県道の除雪作業が遅れたのはなぜか。

A 町長 四十三年ぶりの大雪であり、低温による凍結のため、路面に凹凸ができ、作業はかどらなかつた。各支所判断で除雪するよう指示したが、本庁、支所間の調整や福山地域事務所との連携に手間取ったこともあり、住民の皆様迷惑をかけたことをお詫びする。

ている。アスベスト問題も含め、すべての施設の安全性が保障できるとはいえない。「新池」の堤防補強工事は、旧三和町時代にされたと聞いている。

Q 公共施設の「緊急避難場所」は、耐震偽装事件のようなことはないのか。震度いくらに耐えられるよう設計されているのか。

A 町長 本事業の平成十八年度着工開始を目ざしてい

Q 三和公民館を「緊急避難場所」に指定している。宮谷川上流の「新池」の堤防が決壊した時、住民の安全が保障できるのか。

A 町長 基本計画には、災害

予防・災害応急対策・災害復旧の三つを盛りこんでいる。町指定の緊急避難場所は、一時的緊急的に住民が避難できる既存施設の中から、安全性が確保できる場所を決め

A 町長 本事業の平成十八年度着工開始を目ざしてい

Q 「新池」の堤防は老朽化しており、多目的の宮谷川砂防事業を急ぐべきではないか。

A 町長 姉齒事件は例外であり、本町指定の緊急避難場所」は、県当局に建築確認申請もしており、建築士の設計は間違いないものと考えている。

A 町長 本事業の平成十八年度着工開始を目ざしてい

Q 公共施設の「緊急避難場所」は、耐震偽装事件のようなことはないのか。震度いくらに耐えられるよう設計されているのか。

A 町長 基本計画には、災害予防・災害応急対策・災害復旧の三つを盛りこんでいる。町指定の緊急避難場所は、一時的緊急的に住民が避難できる既存施設の中から、安全性が確保できる場所を決め



三和公民館

問 除雪対応が不十分

答 指示体系を再点検する

Q 昨年末の積雪は四十年来、地域によれば八十年来とも言われている。

住民の生活道は閉ざされ、交通網は麻痺し、その対応が大幅に遅れた。合併新町の行政姿勢と、組織体系が疑われたのではないか。

A 町長 万々に備え、即、対応できるシミュレーション（指示体系の構築）を事前しておくべきである。

A 町長 対策については迷惑をかけた、お詫びする。シミュレーションをしていなかったことは事実だ。支所と本庁の十分な



小林 貢議員

連携をして、今回のようなことのないようにするのがこれからの課題だ。

Q 支所権限で「只今〇〇線等を除雪中です。申し出の路線は〇〇会社」をお願いしており、順次対応できると思えます。暫く辛抱ください。

A 建設課長 等々のシミュレーションに沿って、対応している状況を具体的に説明し、住民の皆さんに安心して頂ける配慮をすべし。

A 除雪区間の整理と指示を各業者に徹底するよう改めて調整している。降雪の状況を予測した指示体系、除雪路線の業者間調整を再度点検し、適切な対応に努める。



除雪作業

問 支所機能の充実

答 サービスの低下を招かないように

Q 除雪の対応について、昨年十二月、大雪により住民生活に多大な影響を及ぼした。除雪がおくれたが、原因と反省について今後の対応は。

除雪指示での支所権限の明確化を、豪雪地帯指定の働きかけは。

A 町長 週末にかかり、オペレーター・機械の確保に遅れが生じた。判断と指示が遅れ、今後は、連絡を密にし、業務にあたる。災害等、緊急的なものについては、支所長に権限をまかせよう検討したい。

指定については、県に働きかけた。



久保田龍泉議員

Q 四月から支所体制は、三課から二課に。職員も削減される。しかし住民サービスの低下、住民が不便になることだけは出来るだけ避けなければならぬ。窓口業務、各申請、福祉での相談等、どのように対応されるか、保健師が支所から引き揚げ地域包括支援

センターで業務に当たるが、支所での対応はどうするか。

A 町長 支所は町民課、産業建設課にする。本庁、支所の低下を招かないように総合的窓口を設け対応したい。

保健師については、週に何日出られるか、具体的に調整しており、不便をきたさないようにしたい。



迎本地区・パワーリハビリ

問 庁内における情報管理は万全か

答 発生すれば厳正に対処

Q 防衛庁や県警における機密情報流出、企業の情報流出が連日報道されている。

住民情報の牙城自治体の情報管理は万全でなければならぬが。

A 町長
情報管理で最も重要なのは個人情報保護である。安全施策の基

本方針や対策基準を定めた「町セキュリティポリシー」で情報安全管理に努めている。

Q 百円ライターの大きさのフラッシュメモリーと云う器具は神石高原町全住民の情報が記録でき、持ち歩きができる。私物パソコンの利用、

A 企画課長
私物パソコンの持ち込みは可能であり、アクセスでの管理は。有料サイトの使用は請求書でわかる。



瀬尾征爾議員

て留意すべきことだ。漏洩・流出等も万が一のことがある。町長の決意は。

A 町長
行政情報は絶対漏れてはいけない。情報管理の第一は職員自身がその役割と責任を自覚するよう日常的に教育・訓練していかなければならぬ。

Q 個人情報情報のコンピュータ管理は新たな問題で行政執行上極めて

最終的には個人のモラルに帰するもので、事態があつてはならないが、発生したら厳正に対処する。

問 行政改革の目的は

答 行政改革は住民のために

Q 行政改革は、住民のために行うものであつて、単に人件費の削減とか、支所機能の縮小など住民サービスの切り捨てが目的ではないか。

A 町長
効率化ばかりが優先されると、役場が住民から離れて行くのではない

職員が、町民と一緒に考え、改善していくための能力、合意形成能力、を発揮できるように組織づくりが必要ではないか。

A 町長
行政改革は住民のためであると認識している。



松本彰夫議員

しかし、本町の場合、財政改革を取り組まないと、住民の皆さんへ更なる負担をかける事になる。

人員削減や支所機能の縮小が先行し、住民サービスが低下しないように入り組みたい。



神石小学校入学式

Q 自治振興会が組織される町の主眼は地域住民である。役場の機能が、本庁に集約されるに従い、職員と住民の接触度が減少し、対応が官僚的になり易い。職員を住民サービスの前線に配置し、町民との協働の町づくりに進めるべきではないか。

A 町長
本庁の機能を高めているが、運用において住民のニーズに応えたい。

自治振興会をパートナーに、ふるさとふれあい事業や地区振興施策のみならず、活性化ビジョン策定にも加わって頂き、住民合意の形成に取り組む。

町長



庁舎・パソコン配置状況

問 主要産業である農林業の振興は

答 県と事前協議を進める



村上克朗 議員

Q 予算編成の基本的な考え方に「地域資源を生かした活力ある産業と交流の町づくり」とあるが、将来を見据えた足腰の強い経営体制の新しい事業について伺う。

A 町長 農業のあるべき姿の実現のために、四〇アール規模のトマト栽培で豊

松を中心に生産法人の育成を図って、面積や生産量の拡大に取り組んでいく。

また高原牛の里で一万頭を掲げていき、新たな担い手育成と集落法人経営基盤の強化・ブランド化では、神石高原ぶどうを振興する。

Q 県は今年度「集落法人育成加速化支援事業」法人設立にかかる初期投資や運転資金を交付金で補い、さらに水稲から園芸作物へ転換する法人には「園芸産地構造改革推進事業」で機械や施設の導入支援に二億三〇〇万円「農業外企業参入促進事業」に一億二〇万

円「広島牛生産構造改革促進事業」に一千三〇〇万円などを新規に計上している。本町の対応を伺う。

A 町長 県の政策に我々がこういうものを要望するのではなく、今後、県の施策に各町村がどう対応するか、県の方から方針が示されて来ると理解している。今年の予算に直接要求するのではない。

特定中山間地事業も前々から協議を積み重ねて、今年度に調査費の合意を取り付けた。



どんぐり幼稚園卒園式

問 財源確保対策は

答 広告収入や地場産業の育成

Q 財源確保対策について

財政改革なくして発展なしと、歳出面での対策はアイデア満載だが、財源の確保のための対策はなされているか。

A 町長 町が望むのは財源負担が伴う事業よりも

キャッシュである。特別交付金の増額を目指す。

全体のパイを広げる企業誘致が固定資産税の増につなげる。

また地場産業の育成を図り全体の税収が上がるようにする。

課題なので予算化した。広告収入にも取り組む。

農業公社の合併は、財政支出を減少させる。第三セクターは、独立店舗として企業努力し独立採算を目指して頂く。

Q ふれあい事業について



木野山孝志 議員

①総額が見直され、四千八百万円となった。各旧町村への均等配分も見直したらどうか。

②ふれあい事業の内容の審議については、自治振興会長のみというのではなく、各支所長権限として自由にしたらどうか。また、自治振興会長への二十万円は費用配分ではなく報酬として確定したらどうか。

A 町長 合併推進交付金は、町村の数を基準に配分されている。これが基本となつているので四等分はゆるがせでない。

事業の審査は各地区の自治振興連絡協議会という組織で行う。自治振興会長への報酬については、内部で調整し決定する。



県畜産共進会（三次）

問 県議会議員選挙区は

答 合区の場合は福山を



小川清治 議員

Q 来春四月に行われる広島県議会議員選挙

における、議員定数と選挙区について広島県特別委員会が審査議論がなされている。我々神石高原町の住民には重大問題であり神石高原町の存続・将来に重大な影響がある。町長の考えは。

A 町長

昨年十一月参考人聴取において、中山間地域からの県議員がいなくなると、県政に我々の町の声が届かなくなるので、特別区を是非考えてほしいと強く訴えています。強制合区になる場合は町民八〇%が福山であると答えた。

また今年三月二日藤井県議、岡崎議長と共に同委員会等に本件に関わる要望書を提出した。

今後も強く訴えていく。

Q 平成十八年度予算の執行に当たっては地元町内企業の育成と産業振興発展のため、さらに人と自然が輝くまちづく

りに向けて町内発注を基本姿勢とされた。

A 町長

地元町内業者発注を最重要に考えて執行する。

また商工会、農協、森林組合等ともタイアップして振興を図っていきたい。

問 「もったいない」精神で3Rを

答 日常活動で推進

Q 地球温暖化が予想以上に進み、深刻化している。温室効果ガス(二酸化炭素)の抑制で、地球環境を守らねばならない。

「もったいない」という言葉が国際語として世界中に広まりつつある。ケニア共和国の環境副

大臣のワンガリ・マタサイさんが展開する「もったいない」運動の精神で環境問題に取り組み

てである。3R・1、リデュース(減量・ゴミ発生抑制)・2、リユース(再利用)・3、リサイクル(再)利用の推進をすべきである。

A 町長

大量消費時代から、資源循環型社会を構築すべき時代となった。廃棄物の減量、再利用、再利用の3Rを、行政はもとより、国民一人一人が日常活動の中で推進することが望ましい。

Q 脱石油、循環型社会を目指す上で、生物由来資源(バイオマス)の利活用が重要である。

生物資源の宝庫である本町のバイオマスの利活用への取り組みは。

A 町長

森林資源などの活用で地球環境に優しいバイ

オマス燃料を開発することは大事である。特に間伐材は、森林廃棄物でもあり、ペレットストーブの燃料にするなど、有効な取り組みであり、本町も研究を進めたい。



寄定秀幸 議員



商工会開所式



高麗小学校入学式

委員会報告

県立神石三和病院 存続対策特別委員会

庄原市・西城市民病院を視察

議会の「県立神石三和病院存続対策特別委員会」は、本年二月十五日に、神石三和病院存続のあり方について研修するため、庄原市の西城市民病院の取り組みについて、先進事例の調査を行いました。

公立病院の役割とあり方について

西城市民病院は、病床数百四十四床で、診療科

目は、内科、外科、整形外科、婦人科、精神神経科、放射線科、理学療法科を備え、医師は常勤が七名、非常勤が五名、職員数が百四十五名（嘱託、非常勤を含む）で運営されています。

公立病院の役割を果たすため、病院経営の健全化を前提に、地域包括ケアを中心とした特色ある病院づくりを推進。

1、在宅医療の充実
訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、在宅介

護支援
2、精神・認知症医療の充実
3、専門スタッフの派遣
4、健診機能の充実等
を取り組んでおられます。

赤字経営から黒字経営に至る経過

平成七年に、国から経営の健全化を図るよう指導を受け、財政再建を図った。

経営健全化期間を平成七年〜十一年とし、不良債務解消計画と経営指標の目的を設定、職員数の削減、外部委託の推進、入院率の向上、患者一人当たりの診療収入の向上を実施、これにより十一年度実績で赤字を解消。

◎収入増加の主な要因
病院の外側改装と医療器具の整備により、患者の増加、病床率の向上、医療機関の連携、

健康教育・在宅福祉の取り組み、交通対策の確立、新看護の導入、午後診療の実施等。

保健福祉総合センター「しあわせ館」

西城市保健福祉総合計画「西城市あわせストリー」で、保健・医療・福祉・介護の機能が効果的に連携できる拠点として「しあわせ館」が建設されている。運営の基本理念を、元気づくりの発信施設として有効に活用されている。

特徴は、建築段階から住民の要望を入れ、名前を公募で決められ、住民参画の手法で運営され、多くのボランティアが協力している。
保健師も積極的に地域に進出し、健康づくり、相談活動に大きな役割を果たしている。

町村議会広報

全国コンクールで奨励賞

神石高原町議会広報「みんなの町議会」が、全国町村議会広報コンクールで、奨励賞を受賞しました。
また、広島県町村議会広報コンクールで、紙面の部、写真の部ともに特別賞に選ばれました。これからも皆さんに親しんでいただける広報づくりに努力します。



議会広報広聴調査特別委員会



元気な

グループ紹介

三和公民館

子ども書道教室（サークル）



毛筆に気持ちを集中

伝統文化子ども書道教室は、日本の伝統文化を身につけさせ、これからの日本を創る心豊かな子どもを育てる事を目的に、発足しました。

子どもが聞こえる公民館にしたいという願いに呼応して、次々と希望者が増え、一年生から六年生までの十八名が、正座して、和紙と毛筆に気持ちを集中して、お習字をしています。

地元出身の書道家掛合広子先生は「毛筆習字を好んでし、素直で気持ちの良い子どもたちだから、わたしもとても楽しんでいきます」と言われています。

公民館まつりには、子ども書道教室の作品も展示し、「良い字を書いて、じゃ〜と評価されて、子ども笑顔も、ほころびました。これからも毎月作品を展示して、子どもたちの励みにしたいと思っています。

学校から帰って、先生が待っておられる公民館の教室へ、元気よく挨拶

をして入っていきます。

時間があるときには、上の学年の生徒が学習道具を開いて、自分の宿題など出して勉強していると、下の学年の生徒も見習って一緒に勉強していることもあります。

習字が終わってから図書室で本を手にしても図書にきて貰う家の人を待つている子どもたちもいます。

迎える集まる保護者

編集後記

ようやく桜の便りが聞こえ始めたかと思うと、また雪が降り、今年はこのほか春の訪れを待ち遠しく感じます。

神石高原町も二年目の通年予算が編成されました。こちらもしばらく我慢の時期と思われそうです。寒さに耐えなければ必ず暖かい春が訪れます。

今年度は、厳しい中にも、お出かけタクシーや、定住対策の夢をかけた井関地区の総合開発事業へ

も、活気に満ちた子どもたちの姿を見て「落ち着いて字を書くようになったよ」

「上の学年の人や下の学年の人とも支え合っていて、仲良くしているなあと、喜びの声が交わされています。」

習字を書いている姿を目にし、これが本当の公民館の姿かとしみじみ感じています。

の着手、農業振興、福祉事務所の新設など未来にたぐく事業も予算化されました。

反面、支所機能の縮小、公共事業の削減など住民サービスの低下が懸念される面もあります。

低成長の時代、意識変革も必要だと思います。

神石高原町の存続に向け、理事も議会も職員も住民も一体となつて取り組み時です。

金は無くても希望の持てる町づくりを目指して頑張りますよ。（松）

■住所 / 広島県神石郡神石高原町小島二〇三五

TEL 0847-189-1334
FAX 0847-185-1339